

留 学 報 告 書

記入日：2017年6月16日

氏名	氏名：大岩香穂
留学先国	タイ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 (英) Srinakharinwirot University
留学期間	2016年12月～2017年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2017年5月17日
明治大学卒業予定年月	2018年3月

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	月9000B	月27000円	水道、電気、ネット代込み
食費	20000B	60000円	
図書費	0	0円	
学用品費	1000B	3000円	
教養娯楽費	33000B	100000円	タイ語学校代、旅行費
被服費	3000B	10000円	
医療費	0	0円	
保険費	17000B	50000円	
渡航旅費	33000B	100000円	
雑費	20000B	60000円	
その他(通信費)	月700B	月2100円	プリペイド方式
その他(交通費)	月2000B	月6000円	
その他()		円	
合計	182000B	546000円	

渡航関連

渡航経路	成田空港→スワンナプーム国際空港
渡航費用	チケットの種類 オープンチケット 往路 50000円 復路 50000円 合計 100000円

滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
アパート	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： ）
住居を探した方法	
日本で事前に派遣先の大学の国際課と連絡を取り、現地で候補の中から住居を選びました。現地の日本人向け不動産会社にも連絡を取りましたが、値段が高かったのであきらめました。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
自力で探すことは難しいと思うので、事前に大学の国際課の人に候補地を探してもらったほうが良いと思います。私の滞在していたアパートは、日本人留学生も多く、立地もよく、管理人さんも優しかったので特に大きな不満はありませんでした。	

現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；保険を適用し、無料で診察できました。
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
大学の国際課のスタッフや、アセアンセンターの方に相談しました。
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
大使館からの情報を参考にしました。特に危険を感じたことはありませんでしたが、エアコンの修理等で外部の人を家に入れる際は、貴重品の管理などを徹底しました。
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。
アパートでは、一度に一台までしか機器をつなぐことができず不便でした。複数の機器を使いたいときは、近所のカフェに出かけていました。
現地での資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。
デビットカードで、現地のATMから引き出しました。手数料はかかりますが、安全な方法だと思います。しかし、一日一回までしか引き出せないので要注意です。
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
基本的に何でもそろいます。常備薬があれば、もっていったほうが良いと思います。（タイの薬は強いものが多いので）

進路について

進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など
SPIの参考書、四季報、業界地図
就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）
物流業界。日本だけにとどまらず、世界とかかわりビジネスできるところに惹かれたからです。
就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
しっかりと自分の将来設計ができていれば、特に問題ないと思います。留学中から、情報収集、SPIの勉強、自己分析をすることをお勧めします。
進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。
その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ，記入してください。
11 単位（4 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 11 単位（4 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は，A4 用紙で別途作成し，添付してください。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	END USER BEHAVIOUR
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	
履修期間	2 学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義

授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Mr. Kraiwin
授業内容	情報社会における消費者の経済行動について、先生の講義をメインとして行われます。
試験・課題など	facebook を利用したリアクションペーパーの提出など。
感想を自由記入	タイ人の先生が英語で講義します。時々タイ語で話すことがあり、理解ができない部分もありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	DEVELOPMENT OF DRAMA
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	人文学部
履修期間	2学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	William Mcfeeter
授業内容	古代ギリシャ神話やシェイクスピアなどの物語の演劇の形態の変遷について学びました。
試験・課題など	中間のプレゼンテーションと、期末のレポートがありました。
感想を自由記入	毎回英語の長文の物語を読み、それを元に議論するので、ついていくのが大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	ENGLISH FOR ORGANIZATION COMMUNIKATION
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	人文学部
履修期間	2学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1週間に135分が1回
担当教員	Murray Ayres
授業内容	組織コミュニケーションについて、講義とグループワークで学びました。
試験・課題など	中間と期末にテストがありました。

感想を自由記入	基本的にグループワークで授業を進めていくので、友人も皆理解の深まりました。日本で「組織コミュニケーション」の授業を履修していたので内容は難しく感じませんでした。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	LANGUAGE AND CAREERS IN MULTINATIONAL COMPANY
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	人文学部
履修期間	2学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1週間に135分が1回
担当教員	Michael Wood
授業内容	グローバル化が進む社会において、企業はどうあるべきかについて講義とディスカッションをメインに授業を受けました。
試験・課題など	中間、期末テストとグループプレゼンテーションがありました。
感想を自由記入	講義を最初に受けて、授業の後半はグループディスカッションを行っていました。はじめは自分の意見を言うことができませんでしたが、次第に表明できるようになりました。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学が決定する。資料などの作成。
8月～9月	留学準備。
10月～12月	10月～英語の勉強や資金集めのためのアルバイト。12月27日にバンコクへ渡航。
2017年 1月～3月	1月9日から授業開始。2月末から3月上旬にかけて中間テスト。3月からは就職サイトに登録し、エントリーやES提出、SPIの勉強を始めた。
4月～7月	5月上旬に期末テスト。5月の中旬に帰国し、翌日から説明会などの就職活動を開始した。
8月～9月	8月上旬まで就職活動を続けた。
10月～12月	留学先の単位を学部の単位に認定していただけた。

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学生という自由に自分の時間を使える期間に、自分とは異なる価値観や考え方に触れる経験がしたいと考えたからです。また、もともと海外に興味があり、将来は海外とかかわる仕事がしたいと考えていたことも留学を決めた理由です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学の勉強（特に英語）はもっと熱心に取り組むべきだったと反省しています。タイ語は話せなくても生活はできましたが、英語が話せないと生活の基盤を整えるのに苦労しました。あとは就職活動において、日本にいる夏の間などを使い、もっとインターンに参加すべきでした。帰国してからは時間がないので、留学前に自分の行きたい業界の研究などができたらよかったですと思います。
この留学先を選んだ理由	私の留学の目的は、「自分とは異なる価値観に触れる」ということだったので、今まで自分がかかわってこなかった国へ留学しようと思いタイを選びました。また、タイは東南アジアの中心の国として日本の企業も多く進出しているため、将来の自分のキャリアを考える上で魅力を感じました。
大学・学生の雰囲気	タイというお国柄もあってか、のんびりとした印象が強くあります。生徒はみんな優しく真面目でした。どの生徒も気さくに声をかけてくれるし、私のつたない英語やタイ語にも熱心に耳を傾けてくれました。また制服があるせいか、大学というよりも高校のような雰囲気でした。
寮の雰囲気	私はアパートで一人暮らしをしていました。同じアパートには日本の他大から来た留学生も多くいましたし、タイ人の学生らしき人も多く入居していました。アパートの管理人さんは英語が話せないため苦労することも多くありましたが、タイ語を話すよい機会となりましたし、とても親切な方たちでした。
交友関係	大学では、あえて日本人がいない授業を選択したためすぐに友人ができました。そのほかでは、アパートが決まるまで滞在していたホテルのフロントのお姉さんと仲良くなり、留学中ではいろいろな場所に連れて行ってもらいました。また、日本人留学生と日本語を勉強しているタイ人との交流クラブがあり、そこで同世代の友人がたくさんできました。
学習内容・勉強について	私は日本で「組織コミュニケーション」のゼミに所属しているので、それに近いテーマを扱う授業を多く選択しました。そのため、英語の授業についていくのは難しかったのですが、自分の勉強したことのある内容なども出てきたので、理解することができました。タイ語は語学学校に通い、1日3時間、週5日勉強していたので簡単な会話ならわかるようになりました。

<p>課題・試験について</p>	<p>課題や試験は思ったよりも多くはなかったです。基本的にグループワークが多かったので、私個人の負担は少なく、タイ人の友人たちが手伝ってくれました。一番大変だったのは「development of drama」という授業で、ギリシャ神話についての自分の見解をプレゼンしたことです。これも友人に協力してもらい、乗り切りました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>タイ語学校をはじめ、日本人と日本語を勉強しているタイ人との交流クラブなど積極的に交友関係を広げようと思い活動していました。また、アセアンセンターの方を介して、大学のOBの方にお話を聞くなど就職活動も視野に入れて行動していました。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>7時半：起床。9時～12時：タイ語学校。13時～16時：授業。17時：予習・復習。19時：夕食。21時～23時：自由時間。24時：就寝。</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>休日は、暇さえあれば観光スポットをめぐるったり、近隣の国へ旅行していました。</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>留学を通じて自分は何を得たいのか、どうなりたいのかを明確にしておくことだと思います。慣れない環境に戸惑うことも多くありましたが、自分はこのまま日本に帰りたくないという気持ちが私を突き動かしていたと思います。しっかりとした目的を持って留学に挑めば、おのずと行動ができるようになるので、まずはしっかりと目的を持つことが大切だと思います。あとは、どんなことが起きても楽しもうという心があればきっとよい留学になるはずですよ。</p>